

## ～独立記念日に感じるガーナ愛～

3月6日、ガーナは61回目の誕生日でした。そう独立記念日です。独立記念日の日は各地で行進大会が行われます。一度だけ2011年の独立記念日の日にアフィフェ村で開催された行進大会を見学しました。村内運動会のような雰囲気、サッカーチームがまるでお笑い芸人のようなパフォーマンスをしての行進や、マーケットマダムの賑やかな行進の中には仮装して楽しんでいる人もいました。老いも若きも皆独立記念日を心から祝福し行進を楽しんでいるのが十分伝わってきました。見学をしたのはそれが最初で最後で、今年もSNSで挙げられるガーナのラジオ局の写真をしながら、ガーナの人たちのガーナ愛を感じていました。心から祝福して全身で楽しむ独立記念日の行事の行進は、1週間前ともなると学校では猛練習となります。先生方も日頃の授業よりも熱心に指導をしているなぁと感じてしまうほどです。今年もそうした猛練習を目にしました。学年ごとに分かれて行われる練習、先生たちは並び方、手の降り方、足の上げ方と細々指導していきます。園児と低学年は行進をしないので、練習を見ながら真似して行進します。みんなこの行進に出場するのが憧れなのだろうなぁと、まだ小さな子どもからもガーナ愛を感じるのです。今年の独立記念日は晴天に恵まれましたが、2014年の独立記念日は大雨でした。こんな雨だとアフィフェ村の行進大会は中止だろうなぁと思っていたら、大雨の中でも大会は開催されたと聞きとても驚きました。

ガーナの人たちのガーナ愛は日常生活の中や学校で活動する中で多々感じる事が多くあります。これはまた別の機会にお伝えしたいと思います。

写真は今年の練習風景です。この日は木曜日、練習するのはこの日と金曜と月曜日しかないということで猛練習でした。



2018年3月8日 ガーナ挨拶 No14

スプートニクガーナ 国分敏子